



マークがあるイベントは成田市公式YouTubeチャンネルで動画が見られます。右のQRコードからアクセスして、当日の様子をお楽しみください。



サンプルーノ市中学生友好訪問団 7/3～9



日本の文化を肌で感じて

姉妹都市である米国・サンプルーノ市から、10人の中学生と4人の随行員で構成された友好訪問団が本市を訪れました。今年3月にサンプルーノ市を訪れた本市中学生の家庭がホームステイ先となり、再会を喜んだ中学生たち。

滞在期間中は新勝寺や卸売市場などを訪れたほか、成田祇園祭で山車の曳き廻しにも挑戦しました。遠山中学校の見学では生徒と一緒に給食を食べたり、英語の授業に参加したりして交流を深めました。



- 1 英語の授業に参加
- 2 市役所を表敬訪問
- 3 笑顔で山車を曳いて



当時の写真を使って解説

成田祇園祭特別講演会 7/5

祭りの歴史や見どころを語る

約300年の歴史を持つ成田祇園祭をより楽しんでもらおうと「成田祇園祭特別講演会」が、なごみの米屋 スカイタウンホールで開催されました。幼少期から祭りに親しんでいる関根前副市長が講師となり、成田祇園祭の始まりや、時代ごとに移り変わる祭りの様子について当時の写真とともに解説しました。自身の思い出も交えて語られる講演に、参加者は興味津々の様子で聴き入っていました。

下総松崎駅花壇お披露目式 7/9

高校生が育てた花が彩る

下総松崎駅の駅舎の建て替えに伴い新たに設置された花壇のお披露目式が行われました。駅舎正面に並ぶプランターに植えられたのは、成田西陵高校の園芸科の生徒が育てた鮮やかな黄色とオレンジ色のマリーゴールド。同校の生徒による駅の利用が多いことから、JR東日本から提案があり実施されました。今後も季節ごとに花の入れ替えが行われる予定です。



新しい駅舎の前で



成田祇園祭 7/4~6



まちを熱くする夏の風物詩

成田の夏の一大行事「成田祇園祭」が成田山新勝寺や表参道を中心に開催されました。新勝寺大本堂前での安全祈願に始まり、JR成田駅前で行われた庄巻の総踊りや山車・屋台が仲町の坂を次々と駆け上がる総引きなど、今年も見ど

ころ満載となった3日間。市内外からは48万人にのぼる観客が訪れました。山車・屋台の引き手も観客も一体となり、暑さを吹き飛ばす熱気で、成田のまちを祭り一色に染め上げました。



1



2



3

- 1 勢いよく駆け上がる花崎町の山車
2 JR成田駅前では華やかに舞う
3 鏡開きも盛大に

外国人対象普通救命講習会 6/28



助けたい気持ちは世界共通

市内の外国人を対象に「普通救命講習会」が赤坂消防署で行われました。講師を務めたのは、消防団女性部として活動している国際医療福祉大学成田キャンパスの学生など。英語とやさしい日本語で説明を受けた参加者は、人形を使って胸骨圧迫やAEDの操作などを実践し応急手当ての方法を身に付けました。受講を終えた参加者の一人は「いざという時に、私も力になりたい」と話していました。



身振り手振りを添えて

戦没者追悼献花式 6/27

戦後80年の節目にあたって

戦没者への追悼と恒久平和への誓いを込めて「戦没者追悼献花式」が市役所1階ロビーで行われました。式典で小泉市長は、戦後80年の節目を迎え、戦争の悲惨さを聞く機会が減少していることに触れ、改めて「平和の尊さを次の世代に継承する責務を果たし、平和で豊かなまちの実現にまい進します」と誓いました。その後、参列者全員で黙とうをささげ、戦没者の冥福を祈って献花が行われました。



追悼の言葉を述べる